

第 3 5 期

営業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 3 1 日

島根県益田市美都町宇津川口 630-3



令和7年度営業報告書（第35期）

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

1. 事業内容、営業所、株式の状況、従業員の状況及び取引先金融機関

（1）事業内容及び営業所

①美都温泉「湯元館」	（指定管理事業）	益田市美都町宇津川口 630-3
②美都温泉あったか市	（ 同上 ）	益田市美都町宇津川口 630-3
③お食事処ゆずのき	（飲食業）	益田市美都町宇津川口 630-3
④みと自然の森	（指定管理事業）	益田市美都町都茂 2654
⑤美都学校給食共同調理場	（受託事業）	益田市美都町都茂 1947

（2）株式の状況

発行可能株式の総数 1, 224株

発行済み株式の総数 560株

（3）従業員の状況（令和8年3月31日現在）

従業員数	美都温泉「湯元館」	12名
	美都温泉あったか市	4名
	お食事処ゆずのき	6名
	美都学校給食共同調理場	6名
	総務課（みと自然の森 他）	2名
合 計		30名

（4）取引金融機関

島根県農業協同組合 美都支店（益田東支店）

山陰合同銀行 益田支店

令和7年度営業報告書（第35期）

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

1. 営業の概況

（1）総括

令和7年度の日本経済は引き続き「緩やかな回復基調」にあるとされています。物価上昇と賃金上昇率は高い水準にありますが、このことは地方の中小企業にとっては難しい要因ともなっています。当社の経営状況においても、売上高は増加したものの人件費を始め管理経費の増加も大きく、最終的には前年度並みの収支状況に留まりました。

また、依然として人手不足の状況が発生する場面が多くあり、社内別部門からの応援や短時間アルバイトの活用などの方策を模索しながら、何とか人員確保に努めて運営を継続してきました。

給与水準の改善については可能な限り取り組んでいますが、原資となる売上の増加が計画を下回っている状況の中で、まだまだ十分とは言えない状況となっています。

今年度も地域の協力をいただきながら、美都温泉まつりや石見神楽上演会など、各種のイベント開催や情報発信に取り組みました。また地元の地域自治組織「ぬくもりの里二川」と連携して「柴犬の祖・石号の里」のPRや益田市立宿泊交流センターの運営協力など、地域との連携と協力に引き続き積極的に取り組みました。石号記念館や石像を目的に遠方から訪ねて来られるお客様も増えており、湯元館の入浴利用やお食事処ゆずのきで提供する石号関連メニュー等への波及効果も大きくなっています。

一方で、建設から約35年を経過する美都温泉「湯元館」においては、老朽化による設備故障やトラブルが多く発生しており、2月には地下埋設されている給湯配管の漏水事故により臨時休業を余儀なくされました。

今後は、中東情勢の影響による石油製品等の価格上昇や、関連する様々な製品の供給不足など大きな不安要素もありますが、今後も引き続き地域の皆様と協力して、全社を挙げて「地域経済の活性化と地域住民生活の向上」に取り組んでまいります。

（2）美都温泉「湯元館」

- ・ 令和7年度の年間入浴者数は65,715人で、前年度に比べて855人（1.3%）の増、ほぼ同水準となりました。

昨年度は3月に大浴場天井の緊急修繕工事に伴う二週間の臨時休業がありましたが、今年も2月に地下埋設配管の漏水事故発生により、延べ約10日間の臨時休業となり、重ねて利用者にご不便をおかけする事態となりました。

- ・ 燃料や水道光熱費その他諸経費の上昇に対応するため、7月より入浴料金の価格改定を実施しました。幸いに、心配された値上げによる顧客離れの傾向は感じられず、概ね受け入れていただいたのではないかと思います。
- ・ 施設の安全管理、特にレジオネラ感染症防止対策については法定を上回る回数の配管洗浄消毒作業の実施や、設備の清掃消毒及び点検作業、水質管理等に細心の注意を払いながら日々緊張感を持って運営を行いました。
- ・ 定額の月間入浴券「湯ったり券」の利用入浴者数は若干の減少、対前年で約3%減となりました。それでも年間の延べ利用者数は6,128人で、全利用者数の1割弱を占めており、常連客の確保に一定の役割を果たしています。
(券購入者数は年間で延べ286名)
- ・ RVパークの利用は今年度も増加し、利用台数は対前年で約11%の増、延べ217台となりました。温泉入浴と、週末には温泉食堂棟（お食事処ゆずのき）で飲食を楽しまれるお客様も多くみられ、飲食部門の売上向上にもつながっています。
- ・ 売店では季節商品の品揃えや定期イベントなどの実施により、ほぼ前年度と同様の売上で15,351千円、対前年157千円（1.0%）の増となりました。
- ・ 益田市の重要な特産品である柚子のPRと、入浴客の健康増進を目的に10月下旬から11月末まで毎週火曜日に開催している「柚子湯」は、季節の行事として定着し着実な集客増（通常よりも約100名／日の増）となっています。
その他、「ヨモギ風呂」「クロモジ風呂」「ミント風呂」「アカメガシワ風呂」などの薬草風呂も季節に合わせて実施し、話題作りに取り組みました。
- ・ 設備の老朽化によるとみられる故障が引き続き発生しています。今年度も配管やポンプの漏水、ボイラーの燃焼不良や源泉貯湯タンクの水位制御不良などがあり、何とかその都度益田市の修繕対応をいただいている状況です。

（3）美都温泉食堂棟（お食事処ゆずのき）

- ・ 令和7年度の年間売上は23,788千円で、前年度に比べて68千円（0.2%）の減で、ほぼ前年並みとなりました。
ただし、食材費や人件費の急激な上昇により収支は大幅に悪化しています。
- ・ 益田市立宿泊交流センターの宿泊客用夕食（弁当・焼肉セット）注文に積極的に対応し、前年度よりも受注を増やしました。
食数：447食（4.9%増）、売上額：835千円（7.7%増）

- ・ 「夕食宅配」事業は、高齢者や独居世帯の住民から頼りにされているものの、顧客数は伸び悩み、減少傾向となっています。受注数や顧客数は若干の減少となりました。
年間合計食数：2, 820食（▲92食）、売上額：1, 388千円（▲48千円）
- ・ 昨年度から受注した益田市配食サービス事業にも引き続き対応し、隔月で週2回、昼食弁当の調理製造を行なっています。
- ・ 宴会や仕出し弁当の受注は順調に推移しています。送迎や配達是他部門の応援などで柔軟に対応し、お客様の要望に極力応えるよう努めました。土日祝日など繁忙日は人手不足の状態が続いており、社内応援や臨時アルバイト等で何とか対応しています。

（４）みと自然の森

- ・ 令和7年度の年間利用者数は2, 112人で、前年度に比べて818人（▲27.9%）の減となりました。利用売上は3, 847千円で、前年度に比べて581千円（▲13.1%）の減となりました。
コロナ禍後続いていたキャンプブームが一定程度落ち着いた感があり、ゴールデンウィークや夏休みを除くと、週末でも利用者が減少傾向にあります。
- ・ 令和7年4月より利用料金の改定を行いました。平成10年以降は基本的に料金据え置きとなっていました。水道光熱費や各種経費の上昇に対応するものです。
- ・ 電話予約とネット予約の比率は（19% 対 81%）でした。ネット予約のうち大手予約サイト（楽天トラベル及びじゃらんネット）経由の予約は35%となっており、掲載情報内容を適宜見直すなどして、丁寧な運用を心掛けました。
- ・ 焼肉セットの販売が引き続き好評で、昨年と同数のシーズン合計で100食、25万円の売上となりました。
- ・ 設備や建物の経年劣化や老朽化が進み、山小屋のシャワー設備やトイレ器具の動作不良等が発生し、益田市の修繕対応をいただきました。また山小屋室内床の劣化や屋根の雨漏り箇所などもあり、今後の修繕が必要になっています。
その他軽微な修繕等については現地スタッフの手で極力迅速に対応しています。
- ・ 水道設備は益田川からポンプ取水して濾過浄化し施設内に供給する設備となっています。設置から30年以上が経過する設備であり、定期的を実施する水質検査では基準値以内となっていますが、大雨等の際には濾過能力に限界があり、また原因個所を特定できない地下配管漏水など、設備の老朽化が今後の課題となっています。

(5) 美都温泉 あったか市

- ・ 令和7年度の売上は32,868千円(税抜)で、前年度に比べて▲1,584千円(▲4.6%)の減少となりました。
買上客数も前年を下回る28,281人(▲2,292人、▲7.5%)でした。
- ・ 夏季の高温や雨量不足など天候異常に起因すると思われる、野菜や果物及び春の山菜などの収量減少が来店客数にも影響しています。また地元生産者の高齢化と会員減少が進行し、地元産農産物の出荷が減少傾向にあります。こうした点が当店の特長を弱めつつあり、客離れに繋がる一因でもあると思われます。今後も積極的な声掛けや集荷の取り組みによって、出荷量の維持向上に注力していくことが重要と考えています。
- ・ 生産者の出荷意欲向上と出荷品目拡大を目的に、専門講師を招聘して秋冬の野菜を主体に栽培研修会を開催しました。
- ・ 4月の新緑祭や7月の感謝祭、10月の収穫祭などの定期イベントを開催して、集客とPRに努めました。出荷生産者組合役員の皆様にも協力いただきました。
- ・ 美都学校給食共同調理場への地元農産物納入のため、あったか市出荷生産者組合「給食部会」を毎月1回定期開催し、生産者との密な連絡調整や栽培状況の把握を通して地産地消の推進に積極的に取り組みました。

(6) 美都学校給食共同調理場

- ・ 今期も特に重大な事故等の発生はありませんでした。
- ・ 定期的な衛生管理の勉強会や業務の振り返り、学校の長期休業期間を利用した集中研修など、より一層安心安全で美味しい給食づくりに向けて、職員の資質向上に取り組みました。
- ・ 退職者補充の募集に対してしばらく応募が無い状況が続き、その間は臨時要員による対応や現状職員の努力で何とか対応しました。その後は若干名の採用で一息つきましたが、人員に余裕のない状況が続いています。
- ・ 当調理場の重要な使命の一つである「地元食材の利用促進」に積極的に協力し、形や大きさの不揃いなど規格外品の地元産農産物も極力使用するように努力し、また学校の長期休業中を利用して規格外野菜の一次加工等にも取り組みました。

第 3 5 期

決算報告書

令和 7年 4月 1日 から

令和 8年 3月31日 まで

島根県益田市美都町宇津川口 6 3 0 - 3

株 式 会 社 エ イ ト
(法人番号:5280001005222)

貸借対照表

(令和 8年 3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	22,528,671	流 動 負 債	15,368,572
現 金	623,502	買 掛 金	2,825,195
普 通 預 金	11,904,374	1年以内返済長期借入金	2,424,000
商 品 券	6,500	未 払 費 用	8,015,048
売 掛 金	6,580,535	未 払 法 人 税 等	208,500
商 品	2,425,530	未 払 消 費 税 等	1,858,200
貯 蔵 品	484,000	前 受 金	30,000
立 替 金	297,876	預 り 金	5,768
未 収 入 金	80,554	仮 受 金	1,861
前 払 費 用	17,820	固 定 負 債	7,910,000
仮 払 金	107,980	長 期 借 入 金	7,910,000
固 定 資 産	9,823,803	負 債 合 計	23,278,572
有 形 固 定 資 産	3,567,429	(純 資 産 の 部)	
建 物	2,919,237	株 主 資 本	9,073,902
建 物 付 属 設 備	331,943	資 本 金	28,000,000
構 築 物	63,373	利 益 剰 余 金	-18,926,098
車 両 運 搬 具	156,960	そ の 他 利 益 剰 余 金	-18,926,098
工 具、器 具 及 び 備 品	95,916	繰 越 利 益 剰 余 金	-18,926,098
無 形 固 定 資 産	3,434,984		
電 話 加 入 権	438,984		
ソ フ ト ウ ェ ア	2,996,000		
投 資 そ の 他 の 資 産	2,821,390		
出 資 金	1,000		
保 証 金	150,000		
敷 金	180,000		
保 険 積 立 金	2,490,390		
資 産 合 計	32,352,474	純 資 産 合 計	9,073,902
		負 債 及 び 純 資 産 合 計	32,352,474

損益計算書

(令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		179,332,923
売 上 原 価		
期 首 商 品 棚 卸 高	2,520,957	
商 品 仕 入 高	39,968,037	
材 料 費 (食 堂)	8,990,830	
合 計	51,479,824	
期 末 商 品 棚 卸 高	2,425,530	49,054,294
売 上 総 利 益		130,278,629
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		129,923,667
営 業 利 益 (損 失)		354,962
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	35,955	
雑 収 入	282,810	318,765
営 業 外 費 用		
支 払 利 息		126,599
経 常 利 益 (損 失)		547,128
税 引 前 当 期 純 利 益 (損 失)		547,128
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		214,000
当 期 純 利 益 (損 失)		333,128

販売費及び一般管理費の内訳

(令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額
役員報酬	4,690,000
給料手当	50,552,753
賞与	1,526,110
雑給	18,000
退職金	2,076,000
法定福利費	6,626,631
福利厚生費	531,107
旅交通費	2,794,979
通信費	890,087
車両費	1,815,181
広告宣伝費	751,342
交際接待費	153,501
会議費	10,462
燃料費	11,482,750
水道光熱費	14,003,123
消耗品費	3,393,466
租税公課	430,890
支払手数料	497,375
諸会費	364,150
寄付金	96,000
地代家賃	870,836
研修費	57,918
警備費	194,400
賃借料	3,548,478
保険料	1,119,804
修繕費	3,322,000
事務費	1,070,883
衛生費	6,310,950
イベント費	85,336
慶弔費	1,119
減価償却費	2,444,227
雑費	1,017,686
外注委託料	6,662,590
その他労務費	513,533
販売費及び一般管理費合計	129,923,667

株主資本等変動計算書

(単位：円)

	当事業年度
	(自 令和 7年 4月 1日 至 令和 8年 3月31日)
株主資本	
資本金	
当期首残高	28,000,000
当期変動額	
当期変動額合計	0
当期末残高	28,000,000
利益剰余金	
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	
当期首残高	△19,259,226
当期変動額	
当期純利益	333,128
当期変動額合計	333,128
当期末残高	△18,926,098
その他利益剰余金合計	
当期首残高	△19,259,226
当期変動額	
当期純利益	333,128
当期変動額合計	333,128
当期末残高	△18,926,098
利益剰余金合計	
当期首残高	△19,259,226
当期変動額	
当期純利益	333,128
当期変動額合計	333,128
当期末残高	△18,926,098
株主資本合計	
当期首残高	8,740,774
当期変動額	
当期純利益	333,128
当期変動額合計	333,128
当期末残高	9,073,902

株主資本等変動計算書

(単位：円)

		当事業年度
		(自 令和 7年 4月 1日 至 令和 8年 3月31日)
純資産合計		
当期首残高		8,740,774
当期変動額		
当期純利益		333,128
当期変動額合計		333,128
当期末残高		9,073,902

個別注記表

(令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで)

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 「中小企業の会計に関する指針」の適用

この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しています。

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しています。

3. 固定資産の減価償却方法

定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法を採用しています。

4. 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しています。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	24,778,860円
-------------------	-------------

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度末日における発行済株式の数	560株
------------------------	------

以 上

部門別損益比較表

8. 5.20
(11:56)

P- 1
(単位 円)

--	--	--	--	--

損益計算書

部 門： 全 社

令和 7年 4月 1日～令和 8年 3月31日

[累計残高 (前年比)]

勘 定 科 目 名 (コード)		(000) 共通部門		(001) 総務課	(002) 湯元館施設管理		(003) みと自然の森施設管理	(004) サービス販売部門	(007) 美都温泉食堂棟
整体売上高	4112	932,091	97.8	0	0	932,091	97.8	0	0
売上高	4111	60,334,215	98.9	0	0	0	0	0	23,788,286 99.7
入浴料売上高	4113	28,614,672	118.8	0	0	28,614,672	118.8	0	0
宅配等売上高	4114	734,909	99.6	0	0	734,909	99.6	0	0
貸出料等売上高	4116	426,774	94.4	0	0	426,774	94.4	0	0
和室料売上高	4117	847,079	80.2	0	0	847,079	80.2	0	0
商品売上高	4118	15,351,731	101.0	0	0	15,351,731	101.0	0	0
利用料売上	4119	3,874,500	86.8	0	0	0	0	3,874,500 86.8	0
受託金	4120	66,986,798	102.9	0	811,272 108.1	30,063,636 101.5	10,200,000 117.1	0	0
その他売上高	4121	1,257,400	148.5	0	0	432,055 108.0	223,575 71.7	481,736	0
売上値引 (△) 4115		27,246	78.2	0	0	0	27,246 78.2	0	0
純売上高		179,332,923 103.1		0	811,272 108.1	77,402,947 106.8	14,270,829 106.1	481,736	23,788,286 99.7
期首商品棚卸高	5111	2,520,957 138.3	0	0	0	1,124,085 116.4	0	0	293,451 69.5
商品仕入高	5211	39,968,037 96.6	0	0	0	12,163,644 101.7	0	0	0
材料費	5212	8,990,830 109.7	0	0	0	0	0	0	8,990,830 109.7
期末商品棚卸高 (△) 5311		2,425,530 96.2	0	0	0	1,181,720 105.1	0	0	443,599 151.2
仕入値引戻し高 (△) 5213		0	0	0	0	0	0	0	0
他勘定振替高 (△) 5273		0	0	0	0	0	0	0	0
当期売上原価		49,054,294 100.4	0	0	0	12,106,009 102.6	0	0	8,840,682 106.2
売上総利益		130,278,629 104.2	0	0	811,272 108.1	65,296,938 107.6	14,270,829 106.1	481,736	14,947,604 96.2
役員報酬	6211	4,690,000 102.6	0	0	4,690,000 102.6	0	0	0	0
給料手当	6111	50,552,753 107.9	0	0	3,874,832 106.6	21,489,926 108.1	0	0	9,272,625 112.1
賞与	6213	1,526,110 105.1	0	0	100,000 100.0	590,000 115.7	0	0	300,000 113.2
雑給	6220	18,000 11.2	0	0	14,000	4,000 6.9	0	0	0 0.0
退職掛金	6246	2,076,000 97.0	0	0	192,000 100.0	984,000 100.0	0	0	357,000 114.4
退職金	6228	0 0.0	0	0	0	0 0.0	0	0	0
法定福利費	6312	6,626,631 99.2	0	0	1,432,386 89.7	2,364,125 94.0	0	0	392,026 92.4
福利厚生費	6226	531,107 100.7	0	0	244,537 116.4	124,000 129.4	0	0	54,223 59.8
旅費交通費	6112	2,794,979 106.7	0	0	391,889 119.9	1,203,999 107.2	0	0	518,000 98.8
通信費	6229	890,087 99.8	0	0	140,641 101.6	334,746 103.0	190,577 100.0	0	122,693 90.2
車両費	6230	1,815,181 98.0	0	0	578,182 88.9	725,511 101.1	0	0	1,347
広告宣伝費	6113	751,342 88.4	0	0	19,636 588.1	450,498 73.1	197,782 100.0	0	10,299 279.0
交際接待費	6223	153,501 82.6	0	0	104,410 95.0	0	0 0.0	0	0 0.0
会議費	6245	10,462 90.5	0	0	5,552 62.9	4,910 269.9	0	0	0
燃料費	6232	11,482,750 102.2	0	0	0	11,482,750 102.2	0	0	0
水道光熱費	6219	14,003,123 97.0	0	0	109,044 97.7	8,132,117 96.3	736,116 88.8	0	1,786,921 98.2

13223/154

部門別損益比較表

8. 5. 20
(11:56)

P- 2
(単位 円)

--	--	--	--	--

損益計算書

部 門： 全 社

令和 7年 4月 1日～令和 8年 3月31日

[累計残高 (前年比)]

勘 定 科 目 名 (コード)		全 社		(000) 共通部門		(001) 総務課		(002) 湯元館施設管理		(003) みと自然の森施設管理		(004) サービス販売部門		(007) 美都温泉食堂棟	
消耗品費	6225	3, 393, 466	76.7	0	245, 256	120.1	1, 517, 177	97.1	489, 900	59.2	0	143, 500	104.6	603, 327	69.3
租税公課	6221	430, 890	111.2	0	26, 930	64.0	230, 960	124.0	0	0	0	0	0	2, 000	0
支払手数料	6233	497, 375	153.1	0	0	0	0	0	460, 323	158.5	0	0	0	37, 052	107.3
諸会費	6235	364, 150	97.5	0	342, 150	100.0	11, 000	57.9	6, 000	100.0	0	0	0	5, 000	100.0
寄付金	6222	96, 000	85.0	0	24, 000	85.7	71, 000	83.5	0	0	0	0	0	1, 000	0
地代家賃	6215	870, 836	100.0	0	327, 276	100.0	0	0	0	0	0	46, 436	100.0	497, 124	100.0
研修費	6236	57, 918	192.1	0	51, 818	228.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
警備費	6237	194, 400	104.5	0	0	0	147, 744	104.5	0	0	0	0	0	46, 656	104.5
賃借料	6234	3, 548, 478	116.3	0	0	0	1, 779, 164	110.9	326, 500	136.0	0	0	0	1, 242, 014	153.5
保険料	6224	1, 119, 804	105.4	0	469, 894	96.2	426, 760	108.2	10, 000	100.0	137, 520	131.0	0	26, 670	175.1
修繕費	6216	3, 322, 000	114.8	0	30, 223	0	2, 471, 600	116.4	401, 627	145.1	0	0	0	135, 900	185.3
事務費	6238	1, 070, 883	96.6	0	811, 530	145.2	152, 798	103.7	0	0.0	0	0	0	0	0
衛生費	6239	6, 310, 950	92.3	0	24, 000	100.0	3, 431, 789	89.9	566, 238	76.2	0	0	0	721, 567	99.3
イベント費	6240	85, 336	75.9	0	0	0	84, 462	92.2	0	0	0	0	0	0	0
慶弔費	6241	1, 119	1.8	0	1, 119	1.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	6214	2, 444, 227	188.2	0	185, 550	165.4	1, 792, 141	227.7	26, 999	100.0	41, 836	88.8	0	207, 901	98.3
雑費	6231	1, 017, 686	122.3	0	113, 456	58.2	478, 650	100.9	1, 515	2.6	0	0	0	168, 143	1077.
外注委託料	6242	6, 662, 590	109.6	0	0	0	762, 590	98.1	5, 900, 000	111.3	0	0	0	0	0
その他労務費	6243	513, 533	86.3	0	27, 679	2982.	307, 916	51.8	0	0	0	0	0	177, 938	0
その他人件費	6244	0	0	0	-3, 000, 000	0	0	0	3, 000, 000	125.0	0	0	0	0	0
総務管理費配賦	6247	0	0	0	-10, 766, 719	0	4, 600, 202	124.1	1, 120, 251	69.2	33, 597	104.1	0	518, 170	53.6
販売費及び一般管理費		129, 923, 667	103.8	0	811, 271	108.1	66, 156, 535	104.9	13, 433, 828	101.4	402, 889	109.5	0	17, 205, 596	106.0
営業利益 (損失)		354, 962		0	1		-859, 597		837, 001	403.5	78, 847			-2, 257, 992	
受取利息	7111	35, 955	306.8	0	35, 482	302.7	311		102		0	0	0	0	0
雑収入	7118	282, 810	39.0	0	154, 009	94.6	77, 692	180.5	2, 000	22.0	0	0.0	0	24, 414	253.8
受取配当金	7114	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業外収益計		318, 765	43.2	0	189, 491	108.6	78, 003	181.2	2, 102	23.1	0	0.0	0	24, 414	253.8
支払利息	7511	126, 599	72.1	0	126, 599	72.1	0	0	0		0	0	0	0	0
貸倒償却	7514	0		0	0		0	0	0		0	0	0	0	0
雑損失	7519	0		0	0		0	0	0		0	0	0	0	0
営業外費用計		126, 599	72.1	0	126, 599	72.1	0	0	0		0	0	0	0	0
経常利益 (損失)		547, 128	132.4	0	62, 893		-781, 594		839, 103	387.5	78, 847	69.3		-2, 233, 578	

部門別損益比較表

8. 5. 20
(11:56)
P- 3
(単位 円)

損益計算書

部 門： 全 社

令和 7年 4月 1日～令和 8年 3月31日

[累計残高 (前年比)]

勘 定 科 目 名 (コード)		(009) あったか市	(010) 商品部	(011) 給食事業				
整体売上高	4112	0		0				
売上高	4111	32, 868, 899	95. 4	3, 677, 030	136. 3			
入浴料売上高	4113	0		0				
宅配等売上高	4114	0		0				
貸出料等売上高	4116	0		0				
和室料売上高	4117	0		0				
商品売上高	4118	0		0				
利用料売上	4119	0		0				
受託金	4120	1, 636, 364	90. 9	0		24, 275, 526	100. 1	
その他売上高	4121	120, 034	89. 0	0				
売上値引 (△)	4115	0		0				
純売上高		34, 625, 297	95. 2	3, 677, 030	136. 3	24, 275, 526	100. 1	
期首商品棚卸高	5111	348, 374	156. 2	755, 047	356. 9			
商品仕入高	5211	25, 144, 784	94. 8	2, 659, 609	92. 1	0	0. 0	
材料費	5212	0		0				
期末商品棚卸高 (△)	5311	413, 893	118. 8	386, 318	51. 2			
仕入値引戻し高 (△)	5213	0		0				
他勘定振替高 (△)	5273	0		0				
当期売上原価		25, 079, 265	95. 0	3, 028, 338	129. 3	0	0. 0	
売上総利益		9, 546, 032	95. 6	648, 692	182. 2	24, 275, 526	100. 1	
役員報酬	6211	0		0				
給料手当	6111	6, 095, 150	106. 4	0		9, 820, 220	105. 0	
賞与	6213	240, 000	100. 0	0		296, 110	87. 9	
雑給	6220	0		0				
退職掛金	6246	96, 000	100. 0	0		447, 000	80. 3	
退職金	6228	0		0				
法定福利費	6312	392, 026	97. 8	0		2, 046, 068	117. 3	
福利厚生費	6226	10, 765	100. 0	0		97, 582	81. 3	
旅費交通費	6112	188, 364	98. 1	0		492, 727	109. 0	
通信費	6229	0		0		101, 430	100. 1	
車両費	6230	510, 141	105. 2	0				
広告宣伝費	6113	58, 199	334. 4	14, 928	129. 0			
交際接待費	6223	49, 091	75. 3	0	0. 0	0	0. 0	
会議費	6245	0		0	0. 0			
燃料費	6232	0		0				
水道光熱費	6219	859, 842	97. 3	0		2, 379, 083	101. 5	

部門別損益比較表

8. 5. 20
(11:56)
P- 4
(単位 円)

損益計算書

部 門： 全 社

令和 7年 4月 1日～令和 8年 3月31日

[累計残高 (前年比)]

勘 定 科 目 名 (コード)		(009) あったか市		(010) 商品部	(011) 給食事業					
消耗品費	6225	185,541	32.5		0	352,265	90.8			
租税公課	6221	23,300	106.4		0	4,200				
支払手数料	6233	0			0	0				
諸会費	6235	0	0.0		0	0				
寄付金	6222	0			0	0				
地代家賃	6215	0			0	0				
研修費	6236	0			0	6,100				
警備費	6237	0			0	0				
賃借料	6234	200,800	50.5		0	0				
保険料	6224	35,060	100.2		0	13,900	100.0			
修繕費	6216	45,000	28.8		0	237,650	90.3			
事務費	6238	55,688	45.2		0	50,867	105.5			
衛生費	6239	199,996	100.0		0	1,367,360	103.0			
イベント費	6240	874	4.2		0	0				
慶弔費	6241	0			0	0				
減価償却費	6214	189,800	166.5		0	0				
雑費	6231	223,939	352.9		30,448	248.7	11.5			
外注委託料	6242	0			0	0				
その他労務費	6243	0			0	0				
その他人件費	6244	0			0	0				
総務管理費配賦	6247	378,798	85.2		4,128	155.5	99.3			
販売費及び一般管理費		10,038,374	97.7		49,504	163.6	102.9			
営業利益 (損失)		-492,342			599,188	184.0	80.7			
受取利息	7111	0			60	0				
雑収入	7118	15,826	96.6		100		268.2			
受取配当金	7114	0			0	0				
営業外収益計		15,826	96.6		160		268.2			
支払利息	7511	0			0	0				
貸倒償却	7514	0			0	0				
雑損失	7519	0			0	0				
営業外費用計		0			0	0				
経常利益 (損失)		-476,516			599,348	184.0	80.9			

株式会社 エイト 令和8年度事業計画書

経営理念

～ 地域経済の活性化と地域住民生活の向上に貢献する ～

経営方針

私たちは、地域資源を活用して人の交流を生み出し、地域を元気にします。

私たちは、地域から信頼され、地域の人が自信を持つために欠かせない存在になります。

私たちは、仲間を大切にし、ともに成長できる職場を作ります。

私たちは、健康で生き甲斐にあふれる毎日を、自らの手で作ります。

『地域を元気にする』とは、新たな経済活動や生活の楽しみを作り出すことです。

『地域の人が自信を持つ』とは、ここに住み続けることが幸せだと感じてもらうことです。

『仲間』とは、同じ目標に向かって、互いに切磋琢磨し、お互いを思いやる、大切な存在のことです。

『健康』とは、心身が健全で、経済的にも安定し、家族を守り、毎日成長していけることです。

当社の環境

【外部】

- 人口減少、少子高齢化の加速
- 物価上昇、エネルギー価格の急高騰
- 賃金上昇の継続
- A I 活用の加速
- ネット情報の影響力
- 異常気象による農産物等の栽培不安定
- 山陰道の延伸、東京2 便化の継続

【地域】

- 急激な高齢化と人口減少
- 公共バス路線の廃止
- 美都町時代を知らない世代が社会人に
- 石号及び柴犬の里の認知度向上
- 二川宿泊交流センターの存在
- 湯元館の改修検討調査の動き

【内部】

- 慢性的な人員不足
- 施設と設備の老朽化
- 熱心な既存顧客の存在



取り組む課題と方向性

★思いを丁寧に積極的に伝える、表現する

- ・店のこだわり、商品の特長、唯一無二の良さ
- ・アナログ手法でも全く構わない

★信頼度の向上

- ・安心安全できれいな施設（清掃の徹底、衛生管理の徹底）
- ・明るい挨拶と返事、親切な対応と親しみのある接客
- ・地域への感謝と協力

★ピーク客を伸ばす

- ・GW、お盆、正月、桜期、紅葉期、連休、土日祝
- ・お客様に喜んでいただける、話題になる取り組みを集める

★柔軟で親切的な対応

- ・配達や送迎は可能な限りの対応を
- ・他店が標準ではない

★ぬくもりの里二川及び益田市立宿泊交流センターへの協力

石号及び柴犬の里に関する事業の企画協力と活用

★湯元館の改修または建て替え気運の醸成と検討調査への協力

美都温泉「湯元館」

- (1) 年間入浴者数の目標は68,000人に設定し、着実に安定した運営に取り組めます。
今年4月には累計入浴者が400万人に到達しました。
- (2) 益田市が実施する調査検討事業に積極的な協力を行い、今後の施設と事業の方向性が発展型となるよう、地域とともに取り組めます。
- (3) 利用者数の増加に向けて、連休やお盆正月など繁忙期に各種企画やミニイベントなど話題になる取り組みを増やし、ピーク客を伸ばすことに注力します。
- (4) 益田市立宿泊交流センターの利用促進や柴犬の祖「石号」のPRなど、地域自治組織「ぬくもりの里二川」との協力、益田市及び益田市医師会との連携による健康教室の開催、また市内保育園児の入浴体験招待事業など、地域と協力して集客と利用促進に努めます。

【数値目標】

	第35期実績	第36期目標	備考
入浴者数	65,715人	68,000人	

【収支予算書】

[単位：千円]

	第35期実績	第36期目標	前年比較
売上高	77,402	78,738	1,336
期首在庫	1,124	1,181	57
商品仕入高	12,163	11,499	▲ 664
期末在庫	1,181	1,181	0
売上原価計	12,106	11,499	▲ 607
売上総利益	65,296	67,239	1,943
人件費	25,738	26,395	657
減価償却費	1,792	437	▲ 1,355
販売管理費	38,626	40,353	1,727
販売費及び一般管理費計	66,156	67,185	1,029
営業利益	▲ 859	54	913
営業外収益	78		▲ 78
営業外費用			
経常利益	▲ 781	54	835

温泉食堂棟（お食事処ゆずのき）

- （１）食材価格や人件費の上昇に対応し、価格改定を実施します。同時に、使用する材料やメニュー構成の見直しを行い、より美味しく価値ある品をお客様に提供します。
- （２）地元で新たに事業化された牧場の肉（ロハスファームの豚肉）を使用した新メニューを提供するなど、話題作りと新たな顧客創出に取り組みます。
- （３）仕出し料理や各種会食等の受注が比較的順調に推移しています。人員体制は部門を超えて機動的な社内協力などを行い、お客様の要望に柔軟に対応しながら積極的に受注拡大を図ります。
- （４）夕食宅配事業は利用者や福祉関係機関に頼りにされて重要な存在になっています。引き続き安定的な事業運営に努めるとともに、益田市配食サービス事業も含めて地域住民の生活を守る取り組みに対応していきます。

【収支予算書】

〔単位：千円〕

	第 35 期 実績	第 36 期 目標	前年比較
売上高	23,788	27,049	3,261
期首在庫	293	443	150
材料費	8,990	8,926	▲ 64
期末在庫	443	443	0
売上原価計	8,840	8,926	86
売上総利益	14,947	18,123	3,176
人件費	10,498	9,836	▲ 662
減価償却費	207	204	▲ 3
販売管理費	6,500	7,760	1,260
販売費及び一般管理費計	17,205	17,800	595
営業利益	▲ 2,257	323	2,580
営業外収益	24		▲ 24
営業外費用			
経常利益	▲ 2,233	323	2,556

みと自然の森

- (1) コロナ禍後しばらく続いたキャンプブームは落ち着きつつありますが、山小屋利用や川遊び等の利用は比較的堅調です。清流が施設の中心を流れるロケーションと山間の清々しい自然環境は利用者の高評価を得ており、植栽手入れや屋外環境の整備などに引き続き注力し、きれいで安心安全な施設づくりと親切な対応に取り組めます。
- (2) ペットブームは堅調に続いているとみられ、犬と同伴で気軽に利用できるアウトドア施設としてニーズが高まっています。柴犬の祖「石号」の里としての認知も高まっており、ペット同伴プランをホームページなどでも積極的にPRして利用増を図ります。
- (3) 建物等施設の維持管理について、建設から時間が経過し老朽化が進行している部分も多くなっていますが、こまめな点検と迅速な修繕対応に心掛け、また丁寧な日常清掃作業を行い利用客の満足度向上を図ります。

【数値目標】

	第 35 期 実績	第 36 期 目標	備 考
利用者数	2,112 人	2,500 人	

【収支予算書】

〔単位：千円〕

	第 35 期 実績	第 36 期 目標	前年比較
売上高	14,270	14,903	633
期首在庫			
商品仕入高			
期末在庫			
売上原価計			
売上総利益	14,270	14,903	633
人件費	8,900	8,900	0
減価償却費	26	36	10
販売管理費	4,507	5,093	586
販売費及び一般管理費計	13,433	14,029	596
営業利益	837	874	37
営業外収益	2		▲ 2
営業外費用			
経常利益	839	874	35

美都温泉 あったか市

- (1) お客様へ販売農産物の特徴やお勧めの調理方法などの情報提供を積極的に行い、親切で明るく、楽しみのある店づくりに取り組みます。
- (2) 品揃えの充実を図るため、生産者の方との信頼関係を構築し、出荷時の声掛けや親切的な対応、生産情報の共有等に努め、生産者のやる気を引き出す運営に努めます。集荷対応が可能である体制を積極的にPRして出荷を奨励し、新規の出荷生産者の獲得につなげます。
- (3) 美都学校給食共同調理場への地元農産物納入については、「あったか市出荷生産者組合 給食部会」の役員や栄養士の先生とも緊密に連携をとりながら、引き続き積極的に取り組みます（給食部会例会：毎月1回開催）。また、店頭では新たに「学校給食で使われています」シールを対象農産物に貼付けて販売し、PRに努めます。

【数値目標】

	第35期 実績	第36期 目標	備 考
買上客数	28,281 人	35,000 人	

【収支予算書】

〔単位：千円〕

	第35期 実績	第36期 目標	前年比較
売上高	34,625	41,600	6,975
期首在庫	348	413	65
商品仕入高	25,144	30,569	5,425
期末在庫	413	413	
売上原価計	25,079	30,569	5,490
売上総利益	9,546	11,031	1,485
人件費	6,823	6,994	171
減価償却費	189	114	▲ 75
販売管理費	3,026	3,877	851
販売費及び一般管理費計	10,038	10,985	947
営業利益	▲ 492	46	538
営業外収益	15		▲ 15
営業外費用			
経常利益	▲ 476	46	522

美都学校給食共同調理場

- (1) 今年度から新たに真砂小学校への配食が加わりました。設備の配置や収納場所等の見直しを行うとともに、要員体制の強化も図りながら安定的な運営に取り組みます。
- (2) 安心安全で美味しい給食づくりを安定して遂行するため、関係法令やマニュアル等を遵守し、徹底した衛生管理と職員の更なる資質向上に努めます。小規模調理場のメリットを最大限生かして、手作りで愛情のこもった給食作りに取り組みます。
- (3) 地元食材を最大限に活用することが当施設の重要な使命です。あったか市やその他生産者と最大限の協力をしながら、地産地消の推進に取り組みます。学校の長期休業期間等を利用して食材の一次加工にも取り組み、地元食材の使用率向上を目指します。
- (4) 調理場の施設改修から一定期間を経過し、機器の故障や不具合等が発生することが増えています。大きな事故等に至らないよう、日常の点検確認や調整に気を配ります。

【収支予算書】

〔単位：千円〕

	第 35 期 実績	第 36 期 目標	前年比較
売上高	24,275	24,566	291
期首在庫			
商品仕入高			
期末在庫			
売上原価計			
売上総利益	24,275	24,566	291
人件費	12,609	13,560	951
減価償却費			
販売管理費	9,216	9,588	372
販売費及び一般管理費計	21,825	23,148	1,323
営業利益	2,450	1,418	▲ 1,032
営業外収益	8		▲ 8
営業外費用			
経常利益	2,458	1,418	▲ 1,040

令和8年度 収支計画

令和8年3月作成

(部門内訳)				(部門内訳)			
美都温泉「湯元館」	お食事処 ゆずのき	みと自然の森	道の駅	商品部	あったか市	学校給食 共同調理場	総務課
30,600		4,418					
731							
420							
527							
15,332				2,454	39,700		
919							
	27,049						
409		285	480				
29,800		10,200			1,900	24,566	910
78,738	27,049	14,903	480	2,454	41,600	24,566	910

11,499	8,926			2,030	30,569		
11,499	8,926	0	0	2,030	30,569	0	0

67,239	18,123	14,903	480	424	11,031	24,566	0	910
--------	--------	--------	-----	-----	--------	--------	---	-----

26,395	9,836	3,000			6,994	13,560		7,744
437	204	36	56		114			204
34,363	6,056	3,750	326	85	2,554	6,468		4,846
735		5,900						
5,255	1,704	1,343	40	9	1,323	3,120	0	▲ 12,794
67,185	17,800	14,029	422	94	10,985	23,148	0	0

54	323	874	58	330	46	1,418	0	910
----	-----	-----	----	-----	----	-------	---	-----

								126

54	323	874	58	330	46	1,418	0	784
----	-----	-----	----	-----	----	-------	---	-----

法人税等・その他	280
----------	-----

3,607

売上高	科 目	金額(千円)
	施設利用料	35,018
	コインスタンド・宅配	731
	入浴消耗品貸出料	420
	和室使用料	527
	商品売上	57,486
	整体料	919
	飲食売上	27,049
	その他収入	1,174
	受託料	67,376
	補助金等	0
	合 計	190,700

売上原価	商品仕入原価	53,024
	業務委託料	0
	合 計	53,024

売上総利益	137,676
-------	---------

販売費及び一般管理費	人件費	67,529
	減価償却費	1,051
	管理費	58,448
	外注委託料	6,635
	総務管理費	0
	合 計	133,663

営業利益	4,013
------	-------

営業外損益	営業外収益	0
	営業外費用	126

経常利益	3,887
------	-------

当期利益	3,607
------	-------

第36期 見積貸借対照表

令和9年3月31日 [単位:千円]

科 目		第36期計画	科 目		第36期計画
現金預金		17,000	支払手形		0
受取手形		0	買掛金		3,000
売掛金		6,500	一年内返済長期借入金		2,424
原材料		0	未払金		0
仕掛品		0	未払費用		8,000
商品		2,400	その他流動負債		2,500
貯蔵品		500	流動負債		15,924
未収入金		50	長期借入金		5,486
その他流動資産		163	長期未払金		
			固定負債計		5,486
流動資産計		26,613	負債合計		21,410
建物		2,659	資本金		28,000
建物附属設備		332	利益剰余金		▲ 15,319
構築物		58	繰越利益剰余金		▲ 15,319
車両運搬具		300	純資産合計		12,681
器具備品		60			
リース資産					
無形固定資産		1,100			
投資その他資産		2,969			
固定資産計		7,478			
繰延資産計		0			
資産合計		34,091	負債・純資産合計		34,091

第36期 見積損益計算書

[単位:千円]

科 目		第36期計画
売上高		190,700
期首在庫		2,425
商品仕入高		53,024
期末在庫		2,425
売上原価		53,024
売上総利益		137,676
人件費		67,529
減価償却費		1,051
その他管理費		65,083
販売費及び一般管理費計		133,663
営業利益		4,013
営業外収益		0
営業外費用		126
経常利益		3,887
特別利益		0
特別損失		0
税引前当期純利益		3,887
法人税等		280
当期純利益		3,607



経営理念

～ 地域経済の活性化と地域住民生活の向上に貢献する ～

(ここに誰もが住み続けられる地域を作ること)

～地域の大八車^{だいばぐるま}となれ～

平成3年に美都町が中心となり、行政及び地域の経済団体・各産業の持つ力を一つに集積活用すべく設立されたのが株式会社エイトです。

たくさんの荷物を積んでも力強く前進する「大八車」のように、株式会社エイトは「地域経済の活性化と地域住民生活の向上に大いに貢献する」ことを第一義としてきました。

地域と共に歩み、地域の励みとなり、地域の皆さんが将来への希望を持ってこの地に住み続けられるように、株式会社エイトは大きな使命と役割を担って企業活動に取り組みます。

経営ビジョン

私たちは、お客様に喜びと楽しみ、心身の健康を提供します

私たちの基本姿勢

私たちは、親切で思いやりのある対応をします

私たちの価値観

1. 社員と取引先は大切な宝です
1. 地域を大切にします
1. うそをつかない

私たちの行動指針

1. 私たちは、相手よりも先に、大きな声で、笑顔で挨拶をします。
1. 私たちは、清潔を尊び、安全で事故の無い環境を作ります
1. 私たちは、想像力を膨らませて、言葉にされないお客様の要望にも応えます
1. 私たちは、仕事の能力以上に、個人としての人間性を磨く努力を惜しみません
1. 私たちは、常に地域に興味を持ち、地域のことを知るよう努めます
1. 私たちは、お客様、地域、職場の仲間、会社の機密情報とプライバシーを守ります